



社会福祉法人 岡山こども協会 障がい児サポート 根っこの広場

あかいわ児童発達支援センター（もみじの家・こぶしの家・かりんの家・てつなぎ・わたぼうし）

〒709-0802 赤磐市桜が丘西 10-2-16

放課後等デイサービス あんずの家

〒709-0721 赤磐市桜が丘東 6-6-704

あんず	こぶし	もみじ
12月	12月	12月
4日(土) 開所日	6日(月) 東備支援学校振り替え休日 避難訓練	4日(土) 個別懇談・土曜親子療育 ※7~9月、1~3月生まれの利用児対象
6日(月) 避難訓練		7日(火) 避難訓練
18日(土) 開所日		25日(土) 土曜親子療育 ※要申込
24日(金) 終業式		
12月29日(水)~1月3日(月) 年末年始休所		
1月	1月	1月
7日(金) 小学校始業式	26日(水) 避難訓練	13日(木) 避難訓練
15日(土) 開所日		15日(土)土曜親子療育 ※要申込 日程・内容が決まり次第、お知らせします。
29日(土) 開所日		



●お願い

こども一人につき、
・ティッシュペーパー：1箱
のご協力をお願いします。
各事業所に箱を用意していますので、その
中に入れてください。

●ご報告

もみじの家職員 田村 奈美 が11月に
入籍し、池口 奈美 となりました。
今後ともよろしく申し上げます。



- ・忘れ物が多い
- ・今日はどの服着せよう
- ・今晚のおかずは何にしよう
- ・どうしてうちの子は…

こんな風に “些細なことで悩む” を
リフレーミングしてみると…



- ・細かいところによく気づく
- ・何事にもまっすぐ向き合っている
- ・慎重に物事を考えている
となります。



私、よくがんばってる～
少し休もう。
ひと息つきましょ。



編集後記

一気に寒くなり、冬の訪れを感じます。今年は、もみじの葉も色づき、落ち葉や木の実を拾ったり、製作をしたりと秋を楽しめました。もうすぐ一年も終わり。冬もこどもたちとたくさん楽しみたいです。

池口 奈美

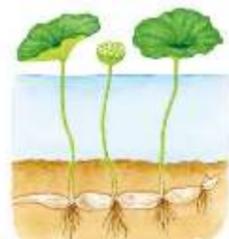
『“今さら”なんてことはない?』

新型コロナウイルス感染症も今のところ落ち着いています。とはいえ、まだ油断のできる状況ではありません。皆さんもどこかに出かけるよりも、家で過ごすことの方が多いのではないのでしょうか。私は家でゲームをする機会が増えました。今せつせと取り組んでいるのは、あつまれどうぶつ森です。昨年の4月頃に発売され話題になったソフトです。発売された頃は全くと言っていいほど興味がなく、こどもたちの会話も話半分という感じでした。しかし今年の10月、きっかけは覚えていないのですが無性にほしくなり、今さらながら購入しました。買うまでには、本当にいるのかと数日悩みに悩みました。

このことをきっかけに考えたのが、こどもたちの活動等への取り組みについてです。こちらからの投げかけにその時は応じず、時間が経ってこどもたちから取り組みたいということが度々あります。こちらとしては、「今さら?」と思うこともあります。しかし、見通しが持ちにくかったり、失敗したらどうしようと思ったりと様々な不安から一歩踏み出せたのがそのタイミングという事なのではないのでしょうか。活動によっては、その時に取り組まないといけないこともあります。でも、時間をおいてでもできる活動については、こどもたちが“今”と思った時に取り組めるようにいつでも準備をしておきたいと思います。

あんずの家 西尾 亜也子

今月の根っこ



れんこんは漢字で「蓮根」と書きますが、普段食べている部分は、実は根ではなく茎なのだとか。そして、れんこんと言えば、水上に大きな蓮の葉を見せるのも特徴的です。水面一帯に広がる蓮の葉は圧巻ですね。

れんこんは、
実は根でなく
茎らしい

あんず



木のブランコはいつもと
違う気分♪

こぶし



みんなに大人気!
笑顔がいっぱい見られます。

もみじ



散歩中に
虹見つけたよ!



生きる力を育もう

ホームページ



ホームページ



こぶしの家

『興味をもって』

職員がリズムあそびのピアノを弾いていると、椅子を用意して横に座るAさん。職員の指の動きや鍵盤をよく見ていて、今では、リズムあそびの終わりの合図の音を弾く役割を担っています。興味、関心を大切に、その子なりの楽しみ方を体験できるようにしたいです。

大森 航輝



散歩やウォーキングに出かけることが多い11月でした。紅葉を眺めながら歩いたり、枝や木の葉を集めたい…。やはり、外は気持ちがいいですね。子ども同士の会話も弾み、たくさんの笑顔が見られました。寒さに負けず天候の良い日には、いっぱい歩きたいと思います。

ホームページ

あんずの家



『味噌汁を作ろう』

具たくさん味噌汁のクッキングをしました。包丁やキッチンバサミを使って材料を切ったり、お湯を沸かしたり、洗い物も子どもたち自身が行います。生活する上でとても大切な調理スキル。実際の経験を通して学べる機会になりました。

岡野 由希



裏山の太陽の森には、タイヤで作られたフランクがあります。大人気の遊具で、子どもたちが列をなして順番を待つことも。フランクに乗ると「あーあー」と言ってターザンにいきって遊んでいます。



もみじの家

『気持ちが伝わる』

給食時、おかわりの意思表示に絵カードを使うことで要求が伝わる喜びを味わい、笑顔になったBさん。自分から絵カードを差し出すことで、少しずつ気持ちが伝わる満足感を積み重ねていきたいと思います。

前田 真理



Cさん:「いっしょにあそぼう」とDさんにお誘い。

Dさん:「いっしょにあそぼうって言うてるよ」と職員へ伝え、なんだか伝言ゲームのように。職員が「そんなときは、いいよ」と言ったらいいよ」と伝えると一緒に遊び始めました。少しづつはぐなやりとりの中でも、友だちとのかかわり方を知るきっかけになりました。

ねっこ なんでも Q&A

Q: トイレでの排便がなかなか進みません。だいぶ自立してきていて、布パンツで過ごせることが多くなっているのですが、排便時には紙パンツに履き替えています。

なぜ排便の度にわざわざ紙パンツに履き替えているのでしょうか？また、トイレでの排便につなげる良い方法はありませんか？

A: 「排便は、紙パンツでするもの」という本人のこだわりがあるのかもしれませんが。こどもの年齢にもよりますが、「これで紙パンツはおしまい」と伝えて、目の前からなくなると仕方なくトイレで成功した子もいます。言葉で伝えるのが難しい場合は、まず、紙パンツのままトイレに座って排便できるように支援し、次にはこどもが便器に座る瞬間に紙パンツを少し前にずらすなどのスモールステップで、こだわりを減らしていく方法もあります。なお、ほとんどのこどもは、便器が冷たいと嫌がります。

A: トイレでの排泄の絵本を見る、きばりたくなっている時に、トイレに誘って成功へつなげるのもいいかもしれませんが、でも、焦りは禁物。機嫌のいいときにしましょう。

A: こどもなりに排便を出す時は周りに誰もいないところでしたい、集中したいのでなるべく「見ないで」「そっとしておいて」なんだと思います。潜在的にある動物的本能のようなものですね。楽しげな表情やユーモアのある表現でこどもをリラックスさせる、大人がトイレから出た時、「スッキリした」「バナナウンチが出た」などと言ってみるのも効果的。トイレは気持ちの良いところだと気付くきっかけになり、「トイレでウンチをするのはかっこいい」と大人に憧れる気持ちも“トイレでウンチをする”動機になるそうですよ。焦ることなくゆっくりといきましょう！

